

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 知床国立公園

所在地: 北海道斜里郡斜里町 網走南部森林管理署国有林1322林班は小班付近

土壌種名: 適潤性褐色森林土

調査実施日: 2019年9月12日

機関名: 北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場

報告者名: 長坂有、荒井修二、水谷純

個体番号	N87	N88	N3	N11	N12	E34	E27	E31	E33	E19	S49	S50	S51	S60	S61	W73	W72	W74	W57	W69
(毎木調査番号)	白	赤	白	赤	白	白	白	赤	赤	黄	赤	赤	白	白	白	白	白	白	赤	赤
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	アカトドマツ	アカトドマツ	ミズナラ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンパ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンパ	ダケカンパ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカンパ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ
樹種名 (学名)	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i>
相対的樹高	Null		+	-		Null	+		+			+		Null	Null		Null		-	
樹高 (m)		14.0	17.3	18.0	14.6		15.9	17.0	15.1	15.4	14.5	17.5	17.7			17.3		18.1	13.0	15.2
胸高直径 (cm)	2013年調査	30.5	86.0	49.0	30.8	2013年調査	47.0	70.5	30.7	33.7	44.0	59.0	66.5	2014年調査	2015年調査	40.9	2017年調査	48.5	41.1	28.0
樹勢									2		1					1				
樹形		1																		
枝の生長量										1	1									
梢端の枯損																			3	
落葉率									1											
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

枯死前年の樹高 (m)	13.8					17.3								18.5	17.6		17.5			
直径 (cm)	22.1					46.9								58.7	45.0		32.4			
調査年度	2012					2012								2013	2015		2016			

樹木衰退の原因推定

- 88: ミズナラによる被圧, 2004年台風18号による梢端折れが過去に発生
- 3: 根際の一部の樹皮が剥がれて辺材部が腐朽
- 11: 過去の昆虫 (食葉性) による食害と樹高の低下
- 12: 3のミズナラの被圧
- 27: 梢端が二股
- 31: 根際の一部の樹皮が剥がれて辺材部が腐朽, 梢端近くに枯枝が一本ある
- 33: 2004年台風18号による梢端折れが過去に発生, 掛かり木による曲がり, 古傷からヤニ, 31のダケカンパによる被圧
- 19: 31のダケカンパによる被圧
- 49: 2004年台風18号により大枝折れが過去に発生, 太い枯枝あり
- 61: 上部2/3の葉が赤褐色に変色, 急激に衰弱 (原因は不明) →2015年調査で枯死を確認
- 73: 72のアカトドマツとの競合
- 72: 2017. 4. 18暴風 (?) によると思われる倒伏 (生葉着葉) →2017年枯死確認
- 74: アカトドマツ溝腐病発生, 他に凍裂・モミサルノコシカケあり, 枯枝やや多
- 57: 2017. 4. 18暴風 (?) によると思われる梢端枯損 (約6m)

備考

灰色は枯死が確認された観察木を示す (前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため, 枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した  
 樹木衰退の原因推定欄には過去の履歴を残しているため, 必ずしも現在の衰退状況とは一致しない

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 支笏洞爺国立公園

所在地: 北海道札幌市南区 定山溪トンネル付近2090林班ほ小班付近

土壌種名: 暗色系褐色森林土

調査実施日: 2019年9月9~10日

機関名: 北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場

報告者名: 滝谷美香、新田紀敏

個体番号	S122	S123	S124	E114	E112	E116	W125	W126	W127	W129	W131	N107	N105	N106	N553	N554	S556	E555
(毎木調査番号)																		
方位 (E, W, S, or N)	S	S	S	E	E	E	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	S	E
樹種名 (和名)	ダケカンパ	ナナカマド	キハダ	ダケカンパ	イタヤカエデ	エゾマツ	ダケカンパ	ナナカマド	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	イタヤカエデ	ダケカンパ	イタヤカエデ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ	ダケカンパ
樹種名 (学名)	<i>Betula ermani</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Phellodendron amurense</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Picea jezoensis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Betula ermani</i>
相対的樹高			Null	+			+	Null						Null	+			
樹高 (m)	21.6	18.7		25.1	20.6	27.2	20.0		21.8	23.7	22.1	17.0	18.9		21.5	23.6	23.6	21.9
胸高直径 (cm)	39.0	36.1	2018年調査で枯死を 確認	62.2	34.5	56.7	74.2	2004年調査で枯死を 確認	42.2	37.6	31.6	43.9	24.7	2013年調査で枯死を 確認	70.6	35.2	58.9	43.7
樹勢		1										2			2			1
樹形		1					1					2						
枝の生長量		1		1	1		2					1			2		1	1
梢端の枯損				1			1					1			1			
落葉率				1	1							1			2			1
葉の変形度																		
葉の大きさ															1			
葉色							1											1
葉の障害状況																		1
ダメージクラス																		1

枯死前年の樹高 (m)			20.8					15.2						15.5				
直径 (cm)			35.0					29.8						41.0				
調査年度			2017					2003						2012				

樹木衰退の原因推定 123, 125: 老齢過熟木、枝枯れあり  
 124: 2018年に来襲した台風による根返りのため枯死  
 114: ツタウルシなどのつる植物の巻き付きあり  
 107: 幹部に損傷が認められ、枯れ枝もやや目立つ  
 553: 枝枯れがやや多い  
 555: 目立たない程度に樹勢が悪い

備考 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 十和田八幡平国立公園

所在地: 岩手県八幡平市 八幡平山国有林10林班ろ小班及び12林班ろ小班

土壌種名: 湿性ポドゾル化土壌

調査実施日: 2019年7月25日

機関名: 岩手県環境保健研究センター

報告者名: 小山田智彰、門脇日和、菊池一馬、大橋慶太郎、東佑紀

個体番号	1	2	3	4	5	6	7-1	8	9	10	10-1	11	12	13	14	15	16	17	18-1	18-2	19	19-1	20
(毎木調査番号)											70									35		50	
方位(E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	N	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	S
樹種名(和名)	オオシラビソ																						
樹種名(学名)	<i>Abies mariesii</i>																						
相対的樹高	-						+			Null	-	+	+			+			Null	+	Null		
樹高(m)	6.3	9.9	9.6	9.6	8.1	10.5	9.8	7.8	8.6		3.5	12.8	11.9	9.2	8.9	11.8	2.9	2.0		4.7		4.5	2.1
胸高直径(cm)	24.1	30.1	27.7	31.4	23.9	34.0	33.1	24.6	27.9	2009年調査で枯死を	11.7	34.8	33.4	19.7	19.8	33.7	14.4	19.9	2015年調査で枯死を	36.4	2015年調査で枯死を	21.1	9.0
樹勢	2	1		3	2	2			2	2009年調査で枯死を	1	1		1	1	1	2	2	2015年調査で枯死を	2	2015年調査で枯死を	1	2
樹形	2	1	1	3	2	1			2	2009年調査で枯死を	1	1	1	1	1	1	2	3	2015年調査で枯死を	2	2015年調査で枯死を	1	2
枝の生長量	2	1		3	2	1			2	2009年調査で枯死を	1	1	1	1	1	1	1	2	2015年調査で枯死を	2	2015年調査で枯死を	1	2
梢端の枯損	2	1	1	2	2	2	1		2	2009年調査で枯死を	1	1	1	1	1	1	1	2	2015年調査で枯死を	2	2015年調査で枯死を		1
落葉率	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2009年調査で枯死を	1	1	1	1	1	1	1	2	2015年調査で枯死を	2	2015年調査で枯死を	1	1
葉の変形度				1	1	2			1	2009年調査で枯死を	1	1					1	2	2015年調査で枯死を	1	2015年調査で枯死を	1	1
葉の大きさ	1			1	1	1			1	2009年調査で枯死を	1						1	1	2015年調査で枯死を	1	2015年調査で枯死を	1	1
葉色	1			1	1			1	1	2009年調査で枯死を	1		1	1			1	2	2015年調査で枯死を	1	2015年調査で枯死を	1	1
葉の障害状況	1	1	1	1	1			1	1	2009年調査で枯死を	1		1				2		2015年調査で枯死を	1	2015年調査で枯死を	1	1
ダメージクラス	1			2	1			1	2	2009年調査で枯死を	1		1	1			1	3	2015年調査で枯死を	2	2015年調査で枯死を	1	

枯死前年の樹高(m)										5.4										4.7		1.5	
直径(cm)										35.2										18.4		7.6	
調査年度										2008										2014		2014	

樹木衰退の原因推定 強風や積雪等により、全体的に梢端の枯損や挫折がみられる  
 17: 梢端の挫折により、樹高が2018年度よりも3.4 m→2.0 mへ低下した  
 18-2: 梢端の挫折により、樹高が2018年度よりも6.5 m→4.7 mへ低下した

備考 10(2009年枯死)、18-1及び19 は倒木(2015年確認)により、代替木を10-1、18-2、19-1とする(2015年追加)  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 磐梯朝日国立公園

所在地: 新潟県村上市三面 三面山国有林1163林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2019年9月25日

機関名: (1) 新潟県 県民生活・環境部 環境対策課 (2) 新潟県森林研究所 (3) 新潟県保健環境科学研究所

報告者名: 楡谷知史(1)、武田宏(2)、涌井克彦(2)、佐藤渉(2)、橋崎光太郎(3)、関川真也(3)

個体番号	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W2	W3	W4	W5
(毎木調査番号)		8-3-11	1-3-1	1-3-2	1-3-3						4-1-11	6-1-13	5-3-5	5-3-6	5-3-7					
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	ナナ																			
樹種名(学名)	<i>Fagus crenata</i>																			
相対的樹高	±	-	-	±	±	±	-	+	±	-	±	-	-	±	-	±	-	Dead	+	±
樹高(m)	31.3	30.3	26.0	29.8	26.8	30.4	27.0	30.3	28.3	29.2	24.7	25.4	19.3	27.5	23.9	25.1	24.6		31.8	32.6
胸高直径(cm)	94.4	71.3	47.6	55.3	70.5	63.1	43.4	83.3	74.5	70.8	75.5	46.9	46.0	41.8	68.2	61.0	57.1		83.6	66.9
樹勢													2			2	2			
樹形													2			2	2			
枝の生長量													1			1	1			
梢端の枯損													1			2	2			
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

枯死前年の樹高(m)																			14.1	
直径(cm)																			54.4	
調査年度																			2018	

樹木衰退の原因推定

S3: フジ巻き付き

W1: W3の主軸折れに伴う枝折れ

W2: W3の主軸折れに伴う枝折れ

W3: 2015年に発生した風害による主軸折れ→2019年枯死確認

備考

灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)

枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 日光国立公園

所在地: 栃木県日光市狸窪

土壌種名: 褐色森林土・日光2統

調査実施日: 2019年9月18日

機関名: 栃木県林業センター

報告者名: 保科裕紀子

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		19		20
(毎木調査番号)	284	301	302	303	304	281	333	295	297	337	299	288	289	338	291	334	339	307	308	309	310	311	285
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	マツノオシロミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	オオシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ	クサシロモミ
樹種名 (学名)	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula emani</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Betula emani</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer mono</i>						
相対的樹高	-		+	-	+	+	-	+	Null			-		+		+	-	+	-	Null		Null	+
樹高 (m)	13.6	19.6	31.3	14.8	17.4	31.8	17.4	32.5		21.8	24.5	18.5	20.7	23.0	24.6	25.1	14.8	24.0	15.5		14.8		22.2
胸高直径 (cm)	19.3	27.5	66.7	19.6	32.0	84.8	20.6	55.1		30.6	44.4	21.0	34.9	37.4	31.2	30.9	36.3	43.6	20.0		24.9		33.0
樹勢	2	1		1													1						
樹形	2			1				1															
枝の生長量	1	1		1								1							1				
梢端の枯損																							
落葉率	2	1								1													
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況							1			1													
ダメージクラス	2	1								1													

枯死前年の樹高 (m)									16.7												22.4		13.9
直径 (cm)									57.3												112		28.9
調査年度									2005												2005		2016

樹木衰退の原因推定 284, 310: 表土の流出により、根が露出  
 301, 303: 上木に被圧され、葉・枝の生長阻害  
 295: 被圧による樹形の乱れ  
 333, 337: 葉の一部に変色、目視では原因不明  
 288: 過密化、上木の被圧による枝の生長阻害  
 339: 2本立ちのうち1本が幹折れにより樹勢衰退 (きのこ発生)  
 311: 2017年枯死 (根の露出に加え、前年度の幹折れにより樹勢衰退したため枯死)

備考 297, 309(2006年枯死)の代替木として298, 308を追加(2006年)  
 311(2017年枯死)の代替木として285を追加(2019年)  
 2018年調査からアオダモ (*Fraxinus lanuginosa* f. *serata*) をマルバアオダモ (*Fraxinus sieboldiana*) に修正  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 中部山岳国立公園

所在地: 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂外11 国有林139の林小班 美女平遊歩道付近

土壌種名: 湿性鉄型弱ポドゾル化土壌Pw(i)III

調査実施日: 2019年8月20日

機関名: 富山県農林水産総合技術センター森林研究所

報告者名: 大宮 徹

個体番号	1	2		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(毎木調査番号)	468 ↓ 1	469 ↓ 2	311	475 ↓ 3	476 ↓ 4	474 ↓ 5	471 ↓ 6	470 ↓ 7	467 ↓ 8	465 ↓ 9	466 ↓ 10	464 ↓ 11	473 ↓ 12
方位 (E, W, S, or N)	NW	NW	NW	E	NE	E	SW	SW	W	W	W	W	S
樹種名 (和名)	フナ	フナ	フナ	ホオノキ	ホオノキ	ホオノキ	フナ	フナ	フナ	フナ	フナ	フナ	ホオノキ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia hypoleuca</i>					
相対的樹高	+	+	Null	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
樹高 (m)	31.6	25.3		26.8	18.6	23.7	26.9	24.4	27.8	27.8	31.7	29.4	14.3
胸高直径 (cm)	79.0	57.5	2008年調査で枯死を確認	63.5	56.7	56.0	77.4	62.8	66.8	58.8	82.8	60.9	23.3
樹勢				2					1				
樹形	1			2					1				
枝の生長量				1	1								
梢端の枯損				1						1			
落葉率													
葉の変形度					1								
葉の大きさ				1									
葉色								1					
葉の障害状況				1									
ダメージクラス													

枯死前年の樹高 (m)			27.9										
直径 (cm)			65										
調査年度			2007										

樹木衰退の原因推定 3, 8: 周囲の樹木から被圧されている  
7: 虫害のため、葉が変色している枝あり

備考 311 (2008年枯死) の代替木として473を追加 (2008年)  
灰色は枯死が確認された観察木を示す (前年度以前に枯死した樹木を含む)  
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 吉野熊野国立公園

所在地: 奈良県上北山村 大台ヶ原山七つ池付近

土壌種名: 乾性褐色森林土

調査実施日: 2019年8月22~23日

機関名: 奈良県森林技術センター

報告者名: 和口美明

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	21	24	28	29	30	2	3	47	49	52	54	36	41	42	43	44	6	10	14	16	17
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ナナ	ナナ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ナナ	ナナ	オオシラサカ	ヒノキ	ナナ	ナナ	ウラジロモミ	ナナ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer Shirasawanum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>					
相対的樹高	-	+	-	±	±	±	+	-	±	Dead	+	±	±	±	-	±	-	±	±	±	±
樹高 (m)	15.4	17.1	15.7	16.5	15.9	14.5	15.7	14.5	18.1		48.1	16.3	16.1	15.8	12.2	19.5	10.6	17.8	16.3	18.9	16.8
胸高直径 (cm)	25.2	49.6	27.6	31.8	42.1	48.1	41.5	30.5	42.2	2018年調査で枯死を確認	18.2	32.9	42.9	28.5	22.7	48.5	36.9	41.9	43.4	40.2	42.2
樹勢		2				2							1				2		2		
樹形		2	1	1		2	1				1				1		2		2		1
枝の生長量		1																			
梢端の枯損		2		1		2	1	1			1	1	1		1	1	2	1	1		1
落葉率		1																			
葉の変形度																					
葉の大きさ		1																	1		
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス		1																			

枯死前年の樹高 (m)										26											
直径 (cm)										51.8											
調査年度										2018											

樹木衰退の原因推定 52: 2018年に風害により倒伏し (2018/11/28観察)、枯死 (2019年確認)  
43: 44により被圧されている

備考 52 (2019年枯死確認) の代替木として54を追加 (2019年)  
灰色は枯死が確認された観察木を示す (前年度以前に枯死した樹木を含む)  
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 大山隠岐国立公園

所在地: 鳥取県西伯郡大山町大字大山字大休 大山国有林地内

土壌種名: 黒色土

調査実施日: 2019年9月3日

機関名: 鳥取県農林総合研究所林業試験場

報告者名: 小山 敢

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
(毎木調査番号)	C3	H10	H1	H7	H11	H4	H3	H12	C26	C25	C21	H5	181	H2	H6	H9	M1	M2	I67
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	W	W	S	S	S	N	N	N	S	N	S	S	N	W	W	E
樹種名 (和名)	ハウチワカエデ	コシロフナ	フナ	キハダ	テツカエデ	コシノキエデ	フナ	フナ	フナ	フナ	ウツミズザクラ	アズキヤナシ	ウツミズザクラ	コシノキエデ	フナ	フナ	フナ	フナ	ウツミズザクラ
樹種名 (学名)	<i>Acer japonicum</i>	<i>Acanthopanax scadaophylloides</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Phellodendron amurense</i>	<i>Acer nipponicum</i>	<i>Acer mioranhum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Prunus grayana</i>	<i>Sorbus alnifolia</i>	<i>Prunus grayana</i>	<i>Acer mioranhum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Prunus grayana</i>
相対的樹高		Null	+			Null	+			Null	Null				+		+		
樹高 (m)	10.2		25.1	18.4	18.1		25.9	20.0	15.8			11.5	16.3	12.7	24.8	20.1	31.0	20.2	14.2
胸高直径 (cm)	27.2	20.8	88.9	36.5	24.6	20.1	58.3	41.8	50.8	20.1	20.1	30.5	32.9	26.0	64.2	52.5	90.4	57.0	34.0
樹勢	1	1				1				1	1		1						
樹形	1	1		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1		1		1	1
枝の生長量	1	1		1	1	1				1	1	1	2	1			1	1	1
梢端の枯損																			
落葉率																			
葉の変形度																			
葉の大きさ																			
葉色													1						1
葉の障害状況																			
ダメージクラス																			

枯死前年の樹高 (m)	2.3					10.2				7.2	12.2								
直径 (cm)	21.1					25.5				13.8	23.1								
調査年度	2017					2010				2010	2010								

樹木衰退の原因推定

- 1: 一部枝枯れあり、ブナによる被圧のためと考えられる
- 12: 枝が片方のみ発達、枯れ枝あり、ブナによる被圧のためと考えられる
- 13: 枝枯れ多数あり、下枝の葉の一部黄変、ブナによる被圧のためと考えられる
- 14: 幹の一部が折損跡あり、枝折れあり、雪害のためと考えられる
- 19: 一部枯れ枝あり、下枝の葉の一部黄変、ブナによる被圧のためと考えられる

備考

12, 13: 2011年度に新規追加  
 14~18: 2015年度に新規追加  
 2(2018年枯死確認)の代替木として19を追加(2019年)  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 石籠固定公園

所在地: 高知県吾川郡いの町 白猪谷山国有林253林班は小班及びへ小班

土壌種名: 適潤性褐色森林土 (偏乾亜型) B<sub>D(d)</sub>

調査実施日: 2018年8月3日

機関名: 高知県立森林技術センター

報告者名: 和食敦子

2019年度は調査中止  
以下、2018年度のデータ

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
(毎木調査番号)	3-35	3-38	3-39	3-43	3-44	2-1	2-29	2-30	3-8	3-9	3-10	1-4	2-2	3-1	3-11	2-11	3-16	2-21	3-26	3-27	3-28	3-59
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W
樹種名 (和名)	ダケカンパ	イタヤヌイタヤ	ツナ	ツガ	イタヤヌイタヤ	ツナ	ツナ	ツナ	ヒノキ	ツナ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ダケカンパ	ツナ	イタヤヌイタヤ	ヒノキ	ツナ	ツナ	ミズナラ	ダケカンパ
樹種名 (学名)	<i>Betula ermani</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Tsuga sieboldii</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies firma</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Abies firma</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Ilex macrospoda</i>	<i>Acer sieboldianum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Clethra barbinervis</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>crispula</i>	<i>Betula ermani</i>
相対的樹高			+					Null							+	Null						
樹高 (m)	9.8	8.2	20.2	12.6	10.0	14.1	16.4		14.8	15.8	13.2	15.7	6.4	18.1		5.5	10.5	17.2	6.9	5.7	11.8	13.3
胸高直径 (cm)	18.3	12.2	65.2	47.9	30.5	49.5	45.6	2006	36.9	41.7	31.8	43.7	12.6	56.2	2014	9.9	30.7	65.3	14.2	12.4	56.7	31.5
樹勢																						
樹形				1																		
枝の生長量																						
梢端の枯損							1														1	
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						

枯死前年の樹高 (m)								15.9														11.4
直径 (cm)								55.6														22.1
調査年度								2005														2013

樹木衰退の原因推定 4: ツガ特有の樹形の崩れによるものと推測される  
7, 19: 枝の微小な枯損は風害によるものと推測される

備考 2-30 (2006年枯死) の代替木として 3-8 を追加 (2007年)  
3-11 (2014年枯死) の代替木として 2-11 を追加 (2014年)  
灰色は枯死が確認された観察木を示す (前年度以前に枯死した樹木を含む)  
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 屋久島国立公園(屋久島1)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林9林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2019年10月17日

機関名: 一般財団法人鹿児島県環境技術協会

報告者名: 溝口信彦

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5	S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	3-2	3-3	3-1			3-16	3-19	3-21	3-20		3-27	3-28	2-20	3-25		3-7	3-8	3-11	3-5	3-4
方位(E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	スギ																			
樹種名(学名)	<i>Cryptomeria japonica</i>																			
相対的樹高	+	+			+					+	-									
樹高(m)	30.6	30.3	28.8	29.4	29.9	18.7	19.4	18.1	14.1	21.5	21.8	21.7	17.0	19.7	20.4	21.5	30.9	26.1	30.5	29.7
胸高直径(cm)	135.5	100.4	99.3	70.1	80.4	58.0	96.9	64.0	39.8	58.4	71.3	68.5	53.3	68.5	53.0	61.5	113.3	59.1	115.6	78.0
樹勢					1	1	1			2	2	1	2	1	1	2				
樹形										2	1	1	2			2		1		1
枝の生長量				1	1	1	1			1	1	1	2		1	2	1	1	1	
梢端の枯損				1	1	1	1		1	1	1		2	1		1	1	1		
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定 W5: 幹の先端が折れている、シカによる樹皮剥ぎ跡あり  
 S1: 隣接木に被圧され、根際の樹幹が一部腐朽している  
 S3: シカの樹皮剥ぎ、角研ぎ跡あり  
 N1: シカによる樹皮剥ぎ跡あり

備考

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 屋久島国立公園(屋久島2)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林3林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2019年10月17日

機関名: 一般財団法人鹿児島県環境技術協会

報告者名: 溝口信彦

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5		S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)				3-37	3-40	2-10	1-46		3-17	3-14		3-31		3-25	3-50		2-7				3-5
方位(E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	サクラツツジ	ヒサカキ	ヤブツバキ	ツカノキ	サカキ	サカキ	タヌキモチ	スノノキ	ヤブツバキ	サカキ	ツカノキ	サカキ	サカキ	ヤブツバキ	ヤブツバキ	タヌキモチ	タヌキモチ	ヒサカキ	サカキ	ツバキ	ヤブツバキ
樹種名(学名)	<i>Rhododendron tashiroi</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Schefflera octophylla</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Mysticine seguinii</i>	<i>Actinodaphne longifolia</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Schefflera octophylla</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Lithocarpus edulis</i>	<i>Mysticine seguinii</i>	<i>Mysticine seguinii</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Ilex buergeri</i>	<i>Camellia japonica</i>
相対的樹高	-	-				-					Null	-	-				-	-	-	+	-
樹高(m)	7.1	9.9	8.5	11.1	11.3	9.4	10.2	9.8	12.7	13.2		10.8	11.2	11.3	11.8	9.8	8.8	8.7	10.5	17.2	5.2
胸高直径(cm)	11.6	18.1	12.3	35.0	26.4	17.2	25.1	17.8	25.9	28.8	2015年調査で枯死を確認	21.2	11.9	21.0	22.1	17.5	13.2	8.7	14.6	61.5	8.8
樹勢			1	1	1															1	2
樹形			1	1													1				3
枝の生長量																					1
梢端の枯損				1																	1
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

枯死前年の樹高(m)											10										
直径(cm)											17.7										
調査年度											2014										

樹木衰退の原因推定 E3, E4, E5: ツル植物(サカキカズラ)が覆い被圧されている  
 N4: ツル植物(ツタ)に被圧されている  
 N5: 幹が途中で折れている

備考 S1(3-31)のサカキを2015年に枯死したツカノキの代替木として追加(2018年)  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 宝立山

所在地: 石川県輪島市町野町寺山黒峰11号12-1及び12-2 町野県有林

土壌種名: 弱乾性赤色土

調査実施日: 2019年9月10日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木 谷

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名 (和名)	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナカマツ	ナナ	ナカマツ	ナナ	ナナ											
樹種名 (学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Pinus densiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>															
相対的樹高			+			+	-				Null										+
樹高 (m)	18.4	17.6	20.9	15.1	17.8	19.4	12.4	15.8	17.4	17.9		16.3	15.9	17.7	15.3	15.2	11.1	17.2	13.6	17.8	19.8
胸高直径 (cm)	23.9	22.2	40.0	19.0	24.3	40.0	13.9	19.4	22.6	24.8	2009年調査で枯死を確認	24.6	18.0	24.5	15.3	21.6	12.6	19.8	16.5	24.3	31.4
樹勢																			1		
樹形																					
枝の生長量							1										1		1		
梢端の枯損																					
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

枯死前年の樹高 (m)											13.3										
直径 (cm)											24.8										
調査年度											2008										

樹木衰退の原因推定 7, 16, 18: 周囲のブナによる被圧により樹高が低くなっている

備考

樹高・胸高直径は2015年のデータ

灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)

枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 石動山

所在地: 石川県鹿島郡中能登町石動山1-1 石動山県有林

土壌種名: 適潤性褐色森林土

調査実施日: 2019年9月10日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木 谷

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	8-2	9	10	11	12	58	13	14	15	16	17	18	19	20	
(毎木調査番号)	1	2	3	無し	4	5	6	7	8	無し	9	10	11	12	58	13	14	15	16	17	18	19	20
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E	
樹種名(和名)	ブナ	ミズメ	イヌシデ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	イヌシデ	アカシデ	ブナ	ミズメ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	ミズナラ	ヤマザクラ	ブナ	ブナ	ブナ
樹種名(学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Carpinus ischonoskii</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus ischonoskii</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer mono</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus mongolica</i> ssp. <i>Crispula</i>	<i>Prunus jamasakura</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高	+	+	Null	-	+				Null	-				Null	-								
樹高(m)	30.3	35.0			31.6	25.0	24.8	23.8		16.6	21.6	20.4	26.0		15.7	26.5	24.0	26.5	26.1	21.2	19.5	26.8	21.0
胸高直径(cm)	41.9	57.4	2018年調査で枯死を 確認	42.2	64.8	51.9	54.9	54.8	2018年調査で枯死を 確認	29.8	40.5	33.5	59.9	2018年調査で枯死を 確認	23.4	65.9	37.7	47.9	46.5	66.2	36.4	57.9	42.8
樹勢																							
樹形												1			1				1	1			
枝の生長量																							
梢端の枯損																							
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							

枯死前年の樹高(m)			20.7						14.5					18.5									
直径(cm)			46.5						38.1					49.7									
調査年度			2017						2015					2014									

樹木衰退の原因推定 17: 下枝の折損により樹形が乱れている  
方位Eは低木による遮蔽がある

備考 樹高・胸高直径は2015年のデータ  
12の枯死にともない、58のイタヤカエデに代替した(2015年度)  
8の枯死にともない、8-2のブナに代替した(2016年度)  
3の枯死にともない、同3のイタヤカエデに代替した(2018年度)  
灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 法道寺

所在地: 大阪府堺市南区鉢ヶ峰397-3 法道寺所有林

土壌種名: 黄色土

調査実施日: 2019年9月5日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 山田倫章、石井 亘、土井裕介

個体番号	S1	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W1	W2	W3	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5
(毎木調査番号)	74	79	77	106	132	105	8	122	100	129	123	125	95	93	117	88	131	91	84	51	53	113	112
方位(E, W, S, or N)	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E
樹種名(和名)	ツツライジ																						
樹種名(学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i>																						
相対的樹高	Null						Null		Dead	Null													
樹高(m)		7.0	11.0	9.4	15.1	16.2		16.4			16.0	16.2	18.7	13.8	21.2	2.6	24.4	22.2	17.7	9.3	16.0	18.7	15.3
胸高直径(cm)	2014年調査で枯死を確認	22.8	22.5	26.9	27.9	37.2	2013年調査で枯死を確認	26.8	2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認	32.6	39.6	36.5	39.2	44.3	27.1	32.8	33.6	35.6	3.3	44.4	31.9	47.8
樹勢	2014年調査で枯死を確認	3	1	1	1	1	2013年調査で枯死を確認	1	2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	2	2	3
樹形	2014年調査で枯死を確認	3	1	1	1	1	2013年調査で枯死を確認	1	2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	3	2	3
枝の生長量	2014年調査で枯死を確認	-	-	-	-	-	2013年調査で枯死を確認	-	2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
梢端の枯損	2014年調査で枯死を確認	3	1	1	1	1	2013年調査で枯死を確認	1	2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2
落葉率	2014年調査で枯死を確認						2013年調査で枯死を確認		2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認													
葉の変形度	2014年調査で枯死を確認						2013年調査で枯死を確認		2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認													
葉の大きさ	2014年調査で枯死を確認						2013年調査で枯死を確認		2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認													
葉色	2014年調査で枯死を確認						2013年調査で枯死を確認		2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認													
葉の障害状況	2014年調査で枯死を確認	3	1	1	1	1	2013年調査で枯死を確認	1	2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認	1	3	1	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3
ダメージクラス																							

枯死前年の樹高(m)	9.9						7.7		12.4	14.5												
直径(cm)	17.4						27.9		40.9	33.5												
調査年度	2013						2012		2018	2007												

樹木衰退の原因推定 台風により、幹折れ、梢端折れ、枝折れが多く認められた  
 No. 100は台風による幹折れのため枯死(2019年)  
 - : 判定不能

備考 74, 8, 129の枯死により、79, 122, 123を追加(2016年度)  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 天野山

所在地: 大阪府河内長野市天野町277-1 天野山府営林

土壌種名: 褐色森林土 (黄色系)

調査実施日: 2019年8月21日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 山田倫章、石井 亘、幸田良介、山田航平

個体番号	E1	E2	E3	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	S5	W1	W2	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	54	102	103	56	104	105	34	64	69	70	35	66	81	43	77	41	80	88	89	130	47	48
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名 (和名)	ヒノキ	ヒノキ																				
樹種名 (学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																					
相対的樹高			Null								Null											
樹高 (m)	19.1	20.9		21.3	18.9	23.6	16.0	13.2	16.2	15.5		23.2	22.3	19.4	19.3	22.4	20.3	21.2	21.4	19.9	23.1	21.0
胸高直径 (cm)	24.6	23.6	20.6	22.1	19.6	37.4	24.3	25.5	23.7	28.5	21.0	22.8	32.0	24.1	20.5	29.9	25.5	26.5	27.1	23.1	25.0	32.0
樹勢			2016年								2016年											
樹形																						
枝の生長量				1											1							
梢端の枯損																						
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						

枯死前年の樹高 (m)			15.9								21.3											
直径 (cm)			18.1								19.0											
調査年度			2015								2015											

樹木衰退の原因推定

備考

103, 35が間伐により消失したため、56, 66を追加(2016年度)

灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)

枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 香椎宮1

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 2019年12月11日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一、金子洋平、埴麗文

個体番号	2-1	3-27	3-28	3-29	3-1	3-30	2-22	2-26	2-27	3-6	3-7	3-9	3-10	3-11	3-16	3-17	2-31	3-21	3-24	3-25	3-26	
(毎木調査番号)																						
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	
樹種名(和名)	ヤマモモ	クスノキ	ホルトノキ	イチイガシ	クスノキ	イチイガシ	ハゼ	ヤマモモ	ヤマモモ	クスノキ	ヤマモモ	スダシイ	スダシイ	スダシイ	スダシイ	スダシイ	イチイガシ	ヤマモモ	スダシイ	スダシイ	スダシイ	
樹種名(学名)	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Elaeocarpus sylvesteris</i> var. <i>ellipticus</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Quercus acutissima</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Rhus succedanea</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>				
相対的樹高		+		Null							-											
樹高(m)	14.4	19.0	15.3		15.8	16.2	15.2	13.8	13.8	17.5	10.2	12.9	12.9	12.9	13.0	14.8	18.0	13.8	18.0	18.0	18.0	
胸高直径(cm)	29.5	70.4	41.2	2006年調査で枯死を 確認	33.5	27.8	35.5	41.7	46.5	88.0	29.5	43.7	35.3	45.2	34.5	31.6	47.4	38.7	43.1	56.5	50.7	
樹勢								1														
樹形																						
枝の生長量																						
梢端の枯損	1								2	1					1			1				
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						

枯死前年の樹高(m)				15.0																	
直径(cm)				18.2																	
調査年度				2005																	

樹木衰退の原因推定 2-1, 2-27, 3-7, 3-9, 3-16, 3-21: いずれも隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損, ヤマモモに多く見られる, 生育状況に問題はないと考えられる  
2-26: 隣接木の被圧による衰退

備考 3-29(2006年枯死)の代替木として3-1を追加(2007年)  
灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 香椎宮2

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 2019年12月11日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一、金子洋平、瑛麗文

個体番号	1-1	2-16	3-1	3-2	3-15	1-5	2-4	3-4	3-5	3-6	1-7	2-6	2-7	2-9	3-9	1-13	1-14	2-13	2-14	3-10	2-15	3-12	
(毎木調査番号)																							
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	
樹種名(和名)	スダシイ	スダシイ	スダシイ	スダシイ	スダシイ	スダシイ	クスノキ	クスノキ	イチイガシ	ヤマモモ	クスノキ	スダシイ	ナナミノキ	スダシイ	クスノキ	スダシイ	ヤマニツケイ	ナナミノキ	ヤマツツシキ	スダシイ	スダシイ	スダシイ	
樹種名(学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus gihva</i>	<i>Myrica rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Cinnamomum japonicum</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>					
相対的樹高																	Null		-	Null			
樹高(m)	20.0	21.0	18.5	18.5	18.5	18.5	20.0	20.0	20.0	18.0	21.0	21.0	15.5	19.0	21.0	14.8		17.0	10.0		18.5	17.0	
胸高直径(cm)	69.2	83.4	68.5	51.2	56.7	45.8	39.7	52.4	53.6	46.3	53.1	77.8	33.5	60.0	51.4	75.7	2015年調査で枯死を確認	42.5	16.5	2017年調査で枯死を確認	52.2	47.4	
樹勢						1										2	2015年調査で枯死を確認						
樹形			1			1										2		1					
枝の生長量																							
梢端の枯損						1				1							1					1	
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							

枯死前年の樹高(m)																	16.5			16.5		
直径(cm)																	30.8			35.2		
調査年度																	2014			2016		

樹木衰退の原因推定 3-1, 2-13: 強風による枝折れによる樹形の乱れ, 生育状況に問題はない  
 1-5: 強風による枝折れが影響  
 3-6, 3-12: 隣接木の被圧  
 1-13: 木材腐朽菌による幹の腐朽が影響

備考 2-14: 1-14の代替木として2016年に新規追加  
 2-15: 3-10の代替木として2018年に新規追加  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 古処山1

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷 (旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 2019年12月9日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一、金子洋平、埴麗文

個体番号	2-1	2-3	2-24	3-1	3-23	2-7	2-8	3-3	3-5	3-7	3-9	3-8	3-10	3-11	3-12	3-13	1-97	3-15	3-17	3-18	3-19	
(毎木調査番号)																						
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	
樹種名 (和名)	タブノキ	シラカシ	ツツトリライ	イチイカシ	タブノキ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	ネムノキ	ネムノキ	スギ	スギ	スギ	スギ	シラカシ	ツツトリライ	ツツトリライ	ツツトリライ	ツツトリライ	
樹種名 (学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus glauca</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>					
相対的樹高			-								Null											
樹高 (m)	16.5	22.0	15.0	18.0	16.0	19.0	17.5	16.5	19.5	20.0		16.0	22.0	22.0	15.0	22.0	20.0	18.0	14.5	18.5	16.5	
胸高直径 (cm)	36.7	37.5	26.8	25.5	29.8	30.2	25.0	22.5	33.6	38.7	2012年調査で枯死を確認	26.7	38.1	49.0	20.7	54.4	35.4	55.3	29.0	40.0	30.0	
樹勢																					1	
樹形			1												1							
枝の生長量																						
梢端の枯損			1									1				2					1	
落葉率															1						1	
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						

枯死前年の樹高 (m)											16.0										
直径 (cm)											24.4										
調査年度											2011										

樹木衰退の原因推定 2-24, 3-8, 3-12, 3-19: いずれも隣接木の被圧が影響している  
 3-7, 3-11: キツタ絡み  
 1-97: テイカカズラ絡み

備考 3-9 (2012年枯死) の代替木として3-8を追加 (2013年)  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 古処山2

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷 (旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 2019年12月9日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田隆一、金子洋平、埴麗文

個体番号	1-10	1-182	2-2	2-3	2-9	1-32	1-46	3-5	3-8	3-11	1-42	1-76	1-95	1-80	2-21	3-13	1-133	1-150	2-36	2-37	3-23	
(毎木調査番号)																						
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	
樹種名 (和名)	タブノキ	ツツラギ	タブノキ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	クスノキ	シロカシ	シロカシ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	ツツラギ	シロカシ	シロカシ	シロカシ	ツツラギ	タブノキ	タブノキ	ツツラギ	ツツラギ	
樹種名 (学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	
相対的樹高		—											Null								—	
樹高 (m)	17.0	16.5	16.5	16.5	16.0	17.0	16.0	18.5	18.5	16.5	17.0	16.5	20.1	19.5	18.0	18.0	16.5	16.0	16.5	15.5	17.5	
胸高直径 (cm)	36.5	17.1	20.2	29.3	26.3	33.6	25.9	28.6	26.6	24.3	37.1	22.2	28.9	41.5	30.2	35.6	26.4	26.6	13.5	41.2		
樹勢					2								2018年調査で枯死を確認									
樹形					2		1													1		
枝の生長量					1																	
梢端の枯損		1			2	1																
落葉率					1																	
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						

枯死前年の樹高 (m)													14.5								
直径 (cm)													36.8								
調査年度													2017								

樹木衰退の原因推定 1-182, 1-32, 2-37: 隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損、または若干の樹形の乱れ、生育状況に問題はないと考えられる  
 1-46: 強風による枝折れ  
 1-95: 木材腐朽菌による幹の損傷により枯死  
 2-9: 木材腐朽菌による幹の腐朽が影響

備考 1-95 (2018年枯死確認) の代替木として1-80を追加 (2019年)  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 伊自良湖

所在地: 岐阜県山県市長滝釜ヶ谷27-2

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2019年10月3日

機関名: 岐阜県森林研究所森林環境部

報告者名: 久田善純

個体番号	1	2	3	3-2	4	5	5-2	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	124		9	53		23	6	120	119	118		80				136	94	69	70			147
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	ヒノキ	スギ	ヒノキ																			
樹種名(学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>																			
相対的樹高			Null			Null			+							+						
樹高(m)	15.8	15.1		16.4	13.2		16.9	18.0	18.9	17.9	16.9	16.2	18.5	16.0	15.8	19.0	17.8	13.9	15.5	12.6	13.9	13.8
胸高直径(cm)	22.8	16.6	2007年調査より消失	18.4	15.6	2007年調査で枯死を確認	18.9	25.5	28.1	23.2	18.5	19.5	16.2	16.3	16.6	22.0	20.6	22.5	17.5	11.4	12.2	18.6
樹勢																				1	1	1
樹形		1			1		1			1		1	1	1	1	1	1		1	1	1	1
枝の生長量																						
梢端の枯損					1					1		1		1						1		
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						

枯死前年の樹高(m)			9.7			不明																
直径(cm)			12.3			不明																
調査年度			2006			2006																

樹木衰退の原因推定 2, 4, 5-2, 8, 11, 12, 14, 15, 17: 幹曲がり  
 10: 幹曲がりおよび梢端部折れ  
 13: 幹曲がりおよび二又  
 18, 19: 周囲木からの被圧および幹曲がり  
 20: 周囲木からの被圧, 幹曲がりおよび二又

備考 3-2: 間伐された3の代替木として2007年に新規追加  
 5-2: 枯死した5の代替木として2007年に新規追加  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死前年の樹高・直径は、記録が無いために不明

表E: 樹木衰退調査結果 (EANET方式)

地点名: 大和

所在地: 岐阜県郡上市大和町古道足代山1270-1

土壌種名: 黒ボク土

調査実施日: 2019年10月10日

機関名: 岐阜県森林研究所森林環境部

報告者名: 久田善純

個体番号	1	2	3	4	5	5-2	6	7	7-2	8	9	9-2	10	10-2	11	11-2	12	12-2	12-3	13	13-2	14	14-2	15	16	16-2	17	18	18-2	19	19-2	20	
(毎木調査番号)	22	21	9	10	23	3	46	47	19	45	42	48	7	1	36	34	33	13	36	14	6	15	38	37	30	35	29	11	32	12	13	31	
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	W	
樹種名(和名)	ヒノキ	ヒノキ																															
樹種名(学名)	Chamaecyparis obtusa																																
相対的樹高					Null			Null			Null		Null																				
樹高(m)	32.6	28.9	31.9	29.9		27.0	32.0		29.9	31.9		31.1		29.0		29.0		26.0		29.5		28.9	30.0		29.4	28.1		31.9		31.3	26.0		
胸高直径(cm)	40.2	39.8	45.0	44.3		31.4	46.1		41.7	37.9		41.8		42.5		34.6		32.5		47.5		35.9	43.6		35.5	35.0		47.4		46.2	34.7		
樹勢																																	
樹形																																	
枝の生長量							1			1						1											1		1			1	
梢端の枯損																																	
落葉率																																	
葉の変形度																																	
葉の大きさ																																	
葉色																																	
葉の障害状況																																	
ダメージクラス																																	

枯死前年の樹高(m)					31.2			28.4			30.1		31.6		23.7		26.3	30.0		24.9		26.1			30.2			29.7		30.4		
直径(cm)					42.6			38.5			41.7		39.5		31.5		30.8	44.5		31.2		32.4			33.4			44.6		40.4		
調査年度					2017			2015			2015		2017		2010		2010	2015		2010		2007			2017			2015		2015		

樹木衰退の原因推定 6, 20: 幹曲がり  
 8, 12-3, 17: 幹曲がりおよび梢端折れ  
 11-2: 梢端折れおよび二又  
 18-2: 梢端折れおよび幹に傷(虫害)

備考 14-2: 雪害による幹折れ→調査木変更(2010年)  
 11-2: 幹折れ→調査木変更(2011年)  
 12-2: 幹曲がり→調査木変更(2011年)  
 13-2: 周辺木からの過去の被圧の影響→調査木変更(2011年)  
 7-2, 9-2, 12-3, 18-2, 19-2: 間伐→調査木変更(2016年)  
 5-2: 台風による23の倒伏のため(2018年)、3を代替木として選定(2019年)  
 10-2: 台風による7の倒伏のため(2018年)、1を代替木として選定(2019年)  
 16-2: 台風による30の倒伏のため(2018年)、35を代替木として選定(2019年)  
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(前年度以前に枯死した樹木を含む)  
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した